産業医科大学が世界に誇る講義・実習の講座を
専門的な産業医をめざすあなたのために開講します。

令和9年度

産業医学基本講座

受講のご案内

本学開催

令和9年4月9日(金)
～5月24日(月)

産業医科大学

東京開催

令和9年6月5日(土)
～9月28日(火)

産業医科大学東京事務所
又は
JR神田駅近辺

産業医学基本講座のご案内や、申し込み様式など、詳しくはこちらの二次元コードからご覧いただけます。または、インターネットで「**産業医学基本講座**」と検索していただいてもご覧いただけます。

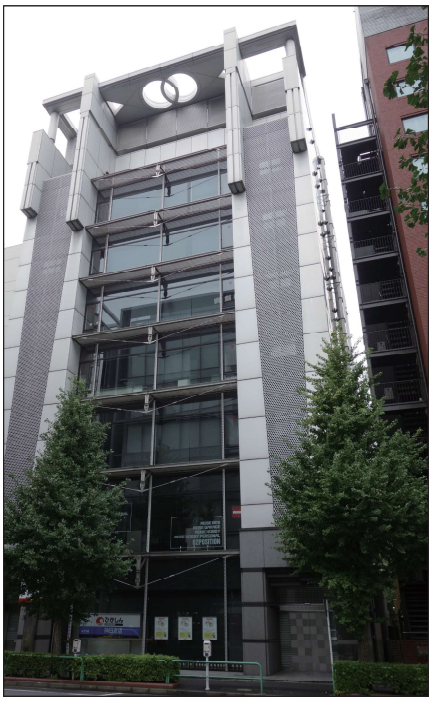
産業医学基本講座　検索

産業医科大学

産業医科大学が世界に誇る講義・実習の講座を専門的な産業医をめざすあなたのために開講します。



産業医科大学 産業生態科学研究所



産業医科大学 東京事務所

概要

産業医科大学の教員と現職の産業医等が、産業医学の基本的な知識から産業医活動に必要な実践的な技術までを集中して提供する研修で、産業医学の専門的な研究と教育を推進する産業生態科学研究所が運営しています。昭和59年（1984年）、本学医学部第1回生の卒業に合わせて専門的な産業医を育成する卒後教育課程として設けられた研修ですが、平成8年（1996年）の労働安全衛生法改正に伴い、本学以外の卒業生も受講できるようになり、平成29年（2017年）からは東京でも開催しています。すべての科目を履修された方には、「産業医科大学産業医学ディプロマ（Diploma of Occupational Health）」の証書が授与されます。これまで43年間に約3,800人が受講しています。

特典

すべての科目を履修した方には、次の特典があります。

1　産業医科大学が発行する「産業医科大学産業医学ディプロマ」（日英両語対応）を授与します。
2　労働安全衛生法に基づき労働安全衛生規則第14条第2項第1号の「産業医」の資格が得られます（医師に限る）。
3　国家資格の「労働衛生コンサルタント（保健衛生）試験」の筆記試験が免除されます（医師・歯科医師に限る）。
4　社会医学系専門医制度資格認定試験受験資格の「基本プログラム」を修了したものと認定されます。
5　日本産業衛生学会専攻医資格認定試験受験資格の「産業医学に関する基礎研修」を修了したものと認定されます。
6　日本医師会「認定産業医」の申請資格が得られます（修了認定後5年以内1回のみの申請に限る）。

科目の履修認定について

本講座は、原則、単年度で修了するものと位置付けております。
ただし、受講開始後にやむを得ない理由により、当該年度履修認定を受けられない科目が生じ、受講年度内に修了することができなかった場合、一定の条件のもと、翌年度以降の再履修を認めることがあります。
なお、再履修にあたっては、別途、所定の再受講登録料(本学開催:1科目につき7,000円、東京開催:1科目につき17,000円)が必要となります。
再履修の取扱いについては、該当する方に個別にご案内いたします。

開講要領

	■本学開催	■東京開催
日程	令和9年4月9日(金)～5月24日(月) 月曜～金曜 8：50～17：50	令和9年6月5日(土)～9月28日(火) 火曜・木曜 18：30～21：40 土曜 9：00～17：50
場所	産業医科大学	産業医科大学 東京事務所又はJR神田駅近辺
定員	80名程度	15名程度
受講料	230,000円	550,000円
願書 提出期間	令和8年12月1日(火)～ 令和9年1月31日(日)	令和8年12月1日(火)～ 令和9年2月28日(日)
	定員の2倍を超える申し込みがあった場合は、願書提出期間内であっても 受付を締め切ることがあります。	
受講資格	医師、歯科医師、修士以上の学位を持ち産業医科大学が認める者	
受講者 決定	応募者数が定員を上回った場合は抽選により受講者を決定し、結果を通知します。 なお、抽選結果に関するお問い合わせは一切お答えいたしかねます。	
資料請求 先等詳細	産業医科大学ホームページ内「産業医学基本講座」 https://www.uoeh-u.ac.jp/medical/training/course.html	

研修内容

産業医学の基本的な知識として、産業医の制度と関係法令、職業関連性疾患とその予防、疫学的な考え方等について、各分野の専門家がわかりやすく解説します。産業医活動に必要な実践的な技術として、作業環境測定と快適職場の形成、労働衛生保護具の使い方、職場巡視の進め方、健康管理と健康保持増進の実際、労働衛生管理体制の構築等について、講義に加えて少人数グループによる実習を行います。各科目の詳細は次のとおりです。

体系的な講義　全86コマ（1コマ／90分）

産業医学基本講座導入	5コマ	産業医の業務・専門性・教育、産業医学の歴史・現状と今後の課題、経営者・労働者と産業医学、産業医学における国際的活動
産業医の倫理	2コマ	産業医が企業と労働者の双方との良好な関係を維持し、職業性疾病の予防とともに、労働者の就業と健康の両立を支援するための判断や行動のあり方について考える。
労働衛生関係法令	6コマ	産業医に必要な法令（労働基準、安全衛生、労災補償関係）の概要を解説し、労働衛生行政の組織や役割について解説する。
健康情報の保護と活用	2コマ	産業保健活動における健康情報の取り扱い、健康情報管理の実際
労働衛生管理とマネジメントシステム	4コマ	マネジメントシステム概論、基本方針・目標・評価、労働安全衛生マネジメントシステムの構成と文書化、監査と継続的改善の仕組
リスクアセスメント	2コマ	産業保健におけるリスク・ハザードへの対応、職場巡視の意義とその概要
労働衛生教育	2コマ	労働衛生行政が規定する労働衛生教育の概要、教育すべき事項、および有用な技法について解説する。
因果関係と疫学	4コマ	産業医学における疫学の役割、記述疫学・曝露の測定・疾病頻度の測定、症例対照研究、コホート研究
作業環境管理と快適職場	6コマ	概論・作業環境測定、作業環境のサンプリングと評価値の演習、粉じん職場、有機溶剤職場、騒音とその対策、環境改善の方法
作業管理と作業改善	6コマ	作業管理の役割、ヒューマンエラーの要因とその低減法、産業睡眠医学、高齢者と労働、作業姿勢と腰痛予防、上肢障害の概説と上肢作業負荷の評価法
一般健康診断と就業適性	2コマ	一般健康診断の実施内容、判定と事後措置、雇入時の健康診断、適正配置
特殊健康診断	2コマ	バイオロジカルモニタリング、特殊健康診断
過重労働と疲労	2コマ	長時間労働や短時間睡眠が循環器疾患や精神障害の発生に与える影響について、近年の疫学研究と社会制度（労災認定基準、労働衛生上の取組）を紹介する。
心理的ストレスとメンタルヘルス	4コマ	職場のメンタルヘルス概論、メンタルヘルス不調者の職場復帰支援、職場のメンタルヘルスの最近の話題、メンタルヘルス教育
健康保持増進活動	2コマ	健康日本21（第三次）、改正健康増進法、健康づくりのための身体活動基準・運動ガイド2023、改正トータル・ヘルスプロモーション・プラン（THP）指針、エイジフレンドリーガイドライン、職場における健康づくり活動の実例
物理的要因による職業性疾病	5コマ	職場における物理的要因（騒音、振動、温熱環境、電離放射線、非電離放射線、高圧作業）による健康障害とその対応について学ぶ。
化学物質による職業性疾病	8コマ	産業中毒学概論、化学物質による神経疾患、金属中毒、化学物質による血液疾患、化学物質による皮膚疾患、粉じん・化学物質による呼吸器疾患、化学物質と発がん、酸素欠乏症と有害ガス中毒

微生物による職業性疾病	2コマ	微生物による労働者の疾病、医療機関における感染症予防対策
公衆衛生総論	5コマ	公衆衛生活動の歴史、地域保健と母子保健、医療保険制度、社会と健康、災害医療体制と公衆衛生
保健医療政策	2コマ	公衆衛生関連法令、行政の組織と役割、公的医療制度、介護保険制度、地域包括ケア、社会保障政策
行動科学	5コマ	健康に関する行動理論の基本的な概念、ヘルスプロモーションの発展とその代表的なモデル、社会経済要因の健康に与える影響、主要な健康政策とその背景となっている行動科学理論、産業保健マーケティング
健康危機管理	5コマ	健康危機管理概論、危機管理体制、大規模災害と保健医療活動、新興感染症・食中毒対策、健康危機管理とリスクコミュニケーション、災害対応者の健康確保
産業医活動の実際	3コマ	企業内健康管理組織論、産業保健サービス提供組織、産業保健の課題と展望、面接記録作成の実際

充実した実技　全36コマ（1コマ／90分）

健康管理実習	5コマ	職場の喫煙対策、職場におけるがん検診、治療と仕事の両立支援、健康経営・コラボヘルス、産業保健活動の経済評価
じん肺読影実習	2コマ	じん肺の画像読影、じん肺や石綿関連疾患の労災認定、じん肺の申請
メンタルヘルス対策実習	3コマ	メンタルヘルス不調者の対応に関する事例検討、職場環境の評価と改善
健康保持増進活動実習	4コマ	改正THP指針、健康測定、運動負荷試験、50％運動強度、運動処方の実際、健康づくりのための身体活動基準・運動ガイド2023、無関心層への取組、労働者の高齢化を見据えた運動の習慣化、フレイルとロコモーティブシンドロームの予防
救急処置実習	2コマ	企業内で生じた大規模あるいは小規模な事故や傷病者の急変を想定し、初期対応を学ぶ。また、企業で心肺蘇生実習を行う際の指導方法についても実習を通して学ぶ。
作業環境管理実習	4コマ	局所排気装置の性能、作業環境改善実習－化学物質－、作業環境改善実習－騒音対策－、作業環境と個人用保護具
作業管理実習	5コマ	上肢の筋骨格系障害の評価、姿勢計測手法を用いた重量物取り扱いにおける負荷推定、眠気の主観的・客観的評価方法、参加型職場改善活動と人間工学チェックポイントの活用
疫学実習	5コマ	疫学的手法を用いた研究企画作成・発表、疫学的手法に必要な統計演習
有害業務管理実習	2コマ	化学物質のリスクアセスメント【化学物質等による危険性/有害性の特定、特定された危険性/有害性によるリスクの見積り、リスクを低減するための措置内容の検討、優先度に応じたリスク低減措置の実施】
職場巡視実習	4コマ	動画視聴による職場巡視実習を行い、企業・製品の理解、有害業務の内容確認、巡視に必要な装備、指摘、巡視記録作成方法について理解する。

演　習　全10コマ（1コマ／90分）

特別に興味のあるテーマを持つ受講者は、各科目責任者の個別指導により、さらに詳細な学習を行うことができます

講義・実習日程（予定）

本学

Ⅰ時限 8:50～10:20／Ⅱ時限 10:30～12:00／Ⅲ時限 13:00～14:30／Ⅳ時限 14:40～16:10／Ⅴ時限 16:20～17:50

区分	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
4月9日																					4月9日(金)				
																					オリエンテーション 10:00～注	産業医学基本講座導入			
																						①	②	③	④
4月12日～4月16日	4月12日(月)					4月13日(火)					4月14日(水)					4月15日(木)					4月16日(金)				
	産業医学基本講座導入	公衆衛生総論				産業医活動の実際				労働衛生関係法令						過重労働と疲労		救急処置実習		物理的要因による職業性疾病	心理的ストレスとメンタルヘルス				
	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	①	②	①	②	①	②	③	④
4月19日～4月23日	4月19日(月)					4月20日(火)					4月21日(水)					4月22日(木)					4月23日(金)				
	産業医の倫理		特殊健康診断		作業管理と作業改善						一般健康診断と就業適性		メンタルヘルス対策実習			作業管理実習					健康管理実習				
	①	②	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	①	②	③	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
4月26日～4月30日	4月26日(月)					4月27日(火)					4月28日(水)					4月29日(木)					4月30日(金)				
	じん肺読影実習		保健医療政策		健康保持増進活動	健康保持増進活動実習					休講（開学記念日）					休講（祝日）					物理的要因による職業性疾病			労働衛生教育	
	①	②	①	②	①	②	①	②	③	④											③	④	⑤	①	②
5月3日～5月7日	5月3日(月)					5月4日(火)					5月5日(水)					5月6日(木)					5月7日(金)				
	休講（祝日）					休講（祝日）					休講（祝日）					行動科学					化学物質による職業性疾病				
																①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
5月10日～5月14日	5月10日(月)					5月11日(火)					5月12日(水)					5月13日(木)					5月14日(金)				
	化学物質による職業性疾病		有害業務管理実習			因果関係と疫学					疫学実習					作業環境管理と快適職場					作業環境管理実習				
	⑥	⑦	⑧	①	②	①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④
5月17日～5月21日	5月17日(月)					5月18日(火)					5月19日(水)					5月20日(木)					5月21日(金)				
	健康危機管理					職場巡視実習				微生物による職業性疾病	健康情報の保護と活用			リスクアセスメント		労働衛生管理とマネジメントシステム					演習				
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	①	②	①	②	①	②	①	②	③	④						
5月24日	5月24日(月)																								
	演習																								

注記

※4月9日（金）のみ、10:00～オリエンテーションを行いますので必ずご出席ください。

※ 演習については、受講者から個別の相談を受け付けます。※時間割は変更となる場合がありますのでご了承ください。

東京

《火・木曜日》Ⅵ時限 18:30～20:00／Ⅶ時限 20:10～21:40

《土曜日》Ⅰ時限 9:00～10:30／Ⅱ時限10:40～12:10／Ⅲ時限 13:00～14:30／Ⅳ時限 14:40～16:10／Ⅴ時限 16:20～17:50

区分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
6月5日～6月19日					6月5日(土)					6月8日(火)		6月10日(木)		6月12日(土)					6月15日(火)		6月17日(木)		6月19日(土)				
					産業医学基本講座導入					労働衛生関係法令		労働衛生関係法令		労働衛生関係法令		産業医の倫理			一般健康診断と就業適性		心理的ストレスとメンタルヘルス		心理的ストレスとメンタルヘルス		メンタルヘルス対策実習		
					① 8:30～ 注	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②		①	②	①	②	③	④	①	②	③
6月22日～7月10日	6月22日(火)		6月24日(木)		6月26日(土)					6月29日(火)		7月1日(木)		7月3日(土)					7月6日(火)		7月8日(木)		7月10日(土)				
	過重労働と疲労		特殊健康診断		化学物質による職業性疾病					化学物質による職業性疾病		化学物質による職業性疾病		健康情報の保護と活用		リスクアセスメント			労働衛生教育		作業管理と作業改善		作業管理と作業改善				
	①	②	①	②	①	②	③	④		⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	①	②		①	②	①	②	③	④	⑤	⑥	
7月13日～7月31日	7月13日(火)		7月15日(木)		7月17日(土)					7月20日(火)		7月22日(木)		7月24日(土)					7月27日(火)		7月29日(木)		7月31日(土)				
	微生物による職業性疾病		有害業務管理実習		作業管理実習					じん肺読影実習		物理的要因による職業性疾病		物理的要因による職業性疾病		救急処置実習			因果関係と疫学		因果関係と疫学		疫学実習				
	①	②	①	②	①	②	③	④	⑤	①	②	①	②	③	④	⑤	①	②	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤
8月3日～8月21日	8月3日(火)		8月5日(木)		8月7日(土)					8月10日(火)		8月12日(木)		8月14日(土)					8月17日(火)		8月19日(木)		8月21日(土)				
	行動科学		行動科学		行動科学	健康管理実習													健康管理実習		作業環境管理と快適職場		健康危機管理				
	①	②	③	④	⑤	①	②	③											④	⑤	①	②	①	②	③	④	⑤
8月24日～9月11日	8月24日(火)		8月26日(木)		8月28日(土)					8月31日(火)		9月2日(木)		9月4日(土)					9月7日(火)		9月9日(木)		9月11日(土)				
	作業環境管理と快適職場		作業環境管理と快適職場		作業環境管理実習					保健医療政策		健康保持増進活動		健康保持増進活動実習					公衆衛生総論		公衆衛生総論		公衆衛生総論	産業医活動の実際			
	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④		①	②	①	②	①	②	③	④		①	②	③	④	⑤	①	②	③	
9月14日～9月28日	9月14日(火)		9月16日(木)		9月18日(土)					9月21日(火)		9月23日(木)		9月25日(土)					9月28日(火)								
	労働衛生管理とマネジメントシステム		労働衛生管理とマネジメントシステム		職場巡視実習					演習		休講（祝日）		演習					演習								
	①	②	③	④	①	②	③	④																			

注記

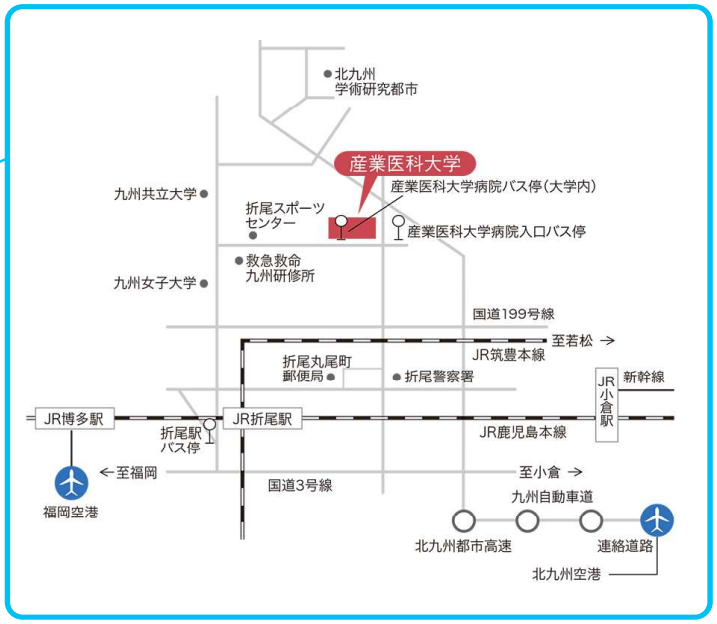
※ 6月5日（土）のみ、8:30～オリエンテーションを行いますので必ずご出席ください。

※ 演習については、受講者から個別の相談を受け付けます。 ※ 時間割は変更となる場合がありますのでご了承ください。

最新の時間割は、ホームページでご確認ください。

本学（産業医科大学 産業生態科学研究所）





〒807-8555
北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

【交通機関】

■ JR鹿児島本線折尾駅下車
徒歩　約20分
タクシー　約5分
北九州市営バス　約10分
西鉄バス　約10分

東京（産業医科大学 東京事務所）

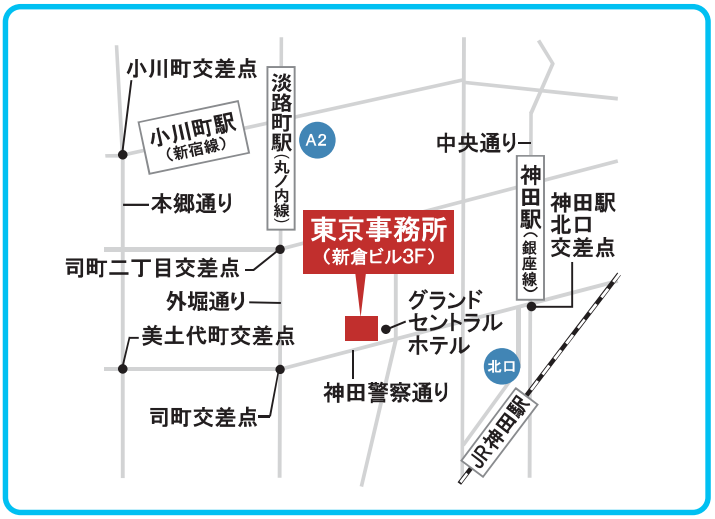
〒101-0048
東京都千代田区神田司町2-2

【交通機関】

■ JR山手線・中央線・京浜東北線、
東京メトロ銀座線「神田」駅北口徒歩5分
「神田」駅北口を出て、神田警察通りを司町交差点に向かい、右側にあるグランドセントラルホテルの隣のビルです。

■ 東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅A2番出口徒歩5分

■ 都営新宿線「小川町」駅A2番出口徒歩5分
「淡路町」・「小川町」駅A2番出口を出て、外堀通りを司町交差点に向かい、交差点を左折し、約40m先左側にあるビルです。





産業医科大学 産業医学基本講座 お問合せ先

研修事業課
研　修　係

TEL：093-691-7464
FAX：093-691-7485
E-mail：kihon@mox.pub.uoeh-u.ac.jp

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1